記者発表資料

平成２８年１月２１日
東北地方整備局

磐梯町が新たに歴史まちづくりの仲間入り

～東北地方の歴史まちづくり計画の認定が６市町に！～

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）」第５条に基づき、福島県磐梯町から計画認定申請があった歴史的風致維持向上計画について、１月２５日に主務大臣（文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）が認定を行います。

なお、当日は、下記のとおり、津島国土交通大臣政務官が、主務大臣連名の認定証を磐梯町長に対して直接交付致します。

東北地方整備局管内では、これまで５市町（弘前市、白河市、多賀城市、鶴岡市及び国見町）が認定を受けているところですが、今回１町が加わることにより６市町となります。（福島県では、白河市、国見町に続いて３番目となります。）

認定証交付の日時：平成２８年１月２５日（月）
１４：３０～１５：００（予定）

認定証交付の場所：国土交通省（中央合同庁舎３号館）
４階 津島国土交通大臣政務官室
（東京都千代田区霞が関２－１－３）

○取材について
・冒頭より認定証の手交までカメラ撮り可能です。
・カメラ撮りをご希望の方は、当日１４：１５までに４階エレベーターホールにお集まり下さい。
・神奈川県鎌倉市についても同日認定されます。

○資料　別紙のとおり

〈発表記者クラブ：福島県政記者クラブ、宮城県政記者会、
東北電力記者会、東北専門記者会〉

〈問い合わせ先〉
国土交通省　東北地方整備局　　電話　022-225-2171（代表）
建政部　計画・建設産業課長　　上原　茂樹　（内6121）
計画・建設産業課長補佐　荒関　　保　（内6132）

別　紙

○歴史的風致維持向上計画の認定について

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）」は、地域の歴史的な風情、情緒を活かしたまちづくりを支援すべく平成２０年５月に公布され、同年１１月に施行されました。

この法律は、我が国固有の歴史的建造物や伝統的な人々の活動からなる歴史的風致について、市町村が作成した歴史的風致維持向上計画を国が認定することで、法律上の特例や各種事業により市町村の歴史まちづくりを支援するものであり、これまで東北地方の弘前市、白河市、多賀城市、鶴岡市及び国見町を含め、全国で４９市町の計画を認定しています。

このたび、福島県磐梯町及び神奈川県鎌倉市が認定されたことにより、認定市は５１市町となります。（別添参照）

◇東北地方整備局管内のこれまでの認定状況

	市町村	認　定　日
１	弘前市	平成２２年　２月　４日
２	白河市	平成２３年　２月２３日
３	多賀城市	平成２３年１２月　６日
４	鶴岡市	平成２５年１１月２２日
５	国見町	平成２７年　２月２３日

○磐梯町の計画の概要

磐梯町歴史的風致維持向上計画（福島県磐梯町　認定申請日　H27.12.22）

国史跡「慧日寺跡」等を含み、慧日寺の継承・復元活動や磐梯山を中核とする山岳信仰、赤枝彼岸獅子舞等が受け継がれ、門前町や宿場町の歴史的建造物が残る大寺・本寺地区を重点区域とし、史跡慧日寺跡の整備・活用や歴史的まちなみの整備、伝統文化財継承事業等が位置づけられています。



【慧日寺跡に復元された金堂・中門】

【計画についてのお問い合わせ先】

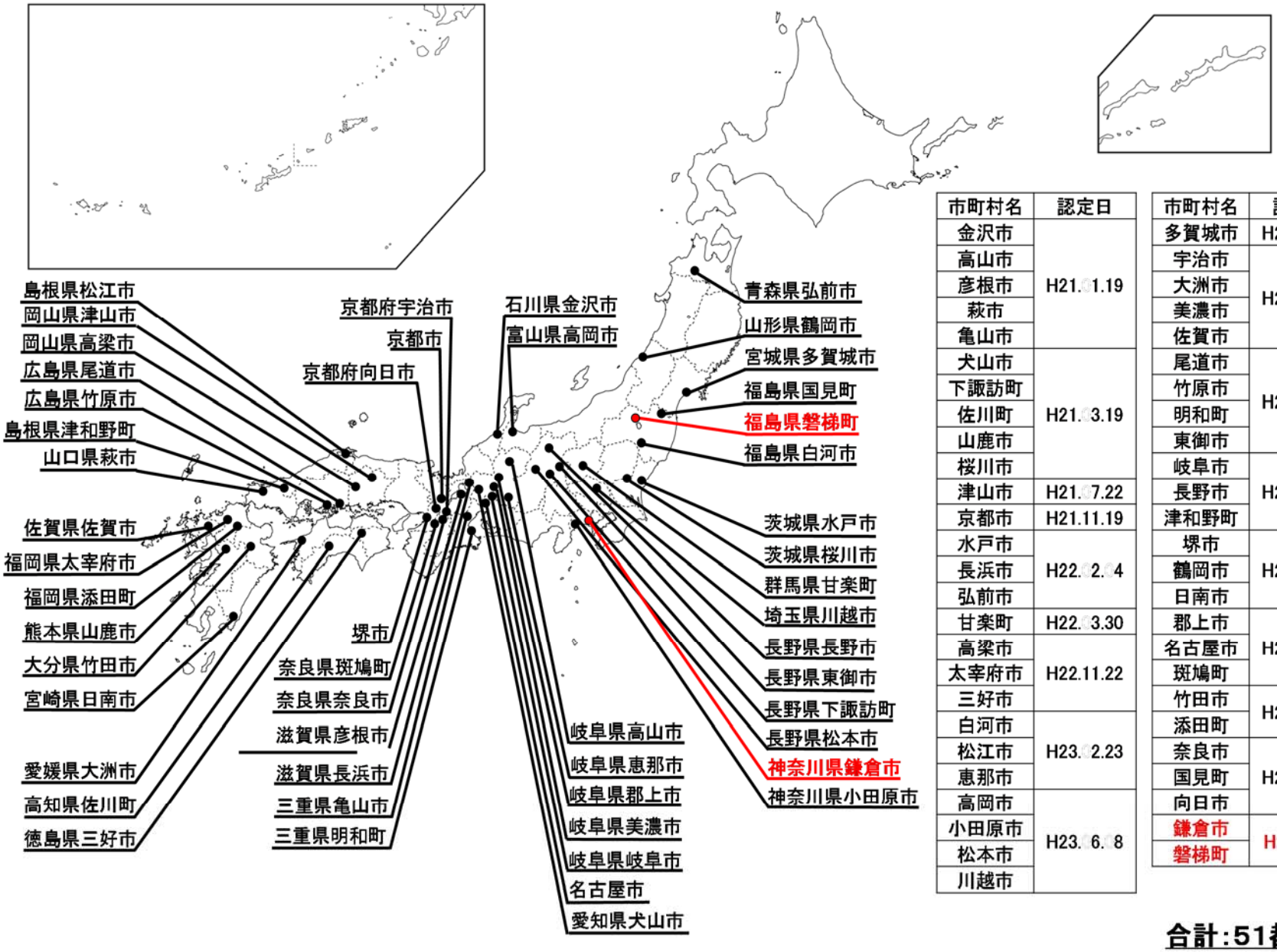
◇磐梯町政策課内まちづくり推進プロジェクトチーム
Tel　０２４２－７４－１２１１

※今回認定を受ける各市町の歴史的風致維持向上計画については、国土交通省、文化庁及び各市町のホームページに２５日以降に公開されます。

・国土交通省HP：
http://www.mlit.go.jp/toshi/rekimachi/toshi_history_tk_000010.html

歴史的風致維持向上計画認定状況

平成28年1月25日



市町村名	認定日
金沢市	H21.11.19
高山市	
彦根市	
萩市	
亀山市	
犬山市	H21.3.19
下諏訪町	
佐川町	
山鹿市	
桜川市	
津山市	H21.7.22
京都市	H21.11.19
水戸市	H22.2.4
長浜市	
弘前市	
甘楽町	H22.3.30
高梁市	H22.11.22
太宰府市	
三好市	
白河市	H23.2.23
松江市	
恵那市	
高岡市	H23.6.8
小田原市	
松本市	
川越市	

市町村名	認定日
多賀城市	H23.12.6
宇治市	H24.3.5
大洲市	
美濃市	
佐賀市	
尾道市	H24.6.6
竹原市	
明和町	
東御市	
岐阜市	H25.4.11
長野市	
津和野町	
堺市	H25.11.22
鶴岡市	
日南市	
郡上市	H26.2.14
名古屋市	
斑鳩町	
竹田市	H26.6.23
添田町	
奈良市	H27.2.23
国見町	
向日市	
鎌倉市	H28.1.25
磐梯町	

合計：51都市

磐梯町の維持向上すべき歴史的風致

磐梯山の山懐に抱かれる霊験あらたかなこの地は、万葉集に詠まれた「会津嶺の国」の郷として発展し、山岳信仰に基づいたさまざまな営みが今日に根付いています。平安時代初期に南都法相宗の僧、徳一により霊峰を仰ぎ見るこの地に創建された慧日寺は、中世にかけて大きく寺勢を広げ、町域は一大仏教都市として繁栄しました。近世以降は新田開発が進み、農村として生活が営まれていきますが、ここにも農耕文化を色濃く伝える赤枝彼岸獅子舞が伝承されています。近代以降は工業の町として栄え、大寺地区では当時から続く祭礼が賑わいを伝えています。こうした歴史的背景をもとに継承されたさまざまな建造物や営みは、磐梯町の良好な歴史的風致を形成しています。



１．慧日寺にまつわる歴史的風致

①慧日寺の継承・復元活動にみる歴史的風致

創建以来、慧日寺は人々の心の支えとなってきました。戦や火災に巻き込まれた慧日寺は、何度も寺勢衰退を迎えましたが、人々の強い思いによって復興が繰り返され、今日に継承されています。慧日寺参道は時代が変化しても変わることなく踏襲され、参道沿いに形成されてきた屋敷割や石垣が広がるまちなみは本町固有の景観を織りなしています。


■慧日寺参道

■国史跡慧日寺跡

■国史跡慧日寺跡
金堂・中門

②磐梯神社の祭礼にみる歴史的風致

磐梯神社の「舟引き祭り」と「巫女舞」は、毎年春分の日に行われる祭礼です。舟を引く掛け声と巫女舞の笛・太鼓の音色が響き渡り、本寺地区はにぎわいを見せます。


■舟引き祭り


■巫女舞

２．磐梯山を中核とする山岳信仰と修験にみる歴史的風致

町名にも「磐梯」とあるように、磐梯山は、磐梯町にとって特別な存在です。山岳信仰や修験に由来する祭礼が今日に伝えられている他、磐梯山への登山は、町民であれば誰しもが経験する共通の原体験となっています。


■麓山籠り


■厩嶽山祭り

３．大寺地区にみる歴史的風致

若松から猪苗代を経て奥州街道に至る二本松街道沿いの大寺地区は、近世には宿駅として発展し、近代以降は、商店街として栄えました。二本松街道沿いに建ち並ぶ蔵や伝統を守り続ける人々の姿、折々に行われる祭礼が現在も継承されており、今なお人々でにぎわう姿を見せています。


■山神社祭礼

４．赤枝彼岸獅子舞にみる歴史的風致

春の彼岸を迎えると、赤枝地区では中世から伝わる赤枝彼岸獅子舞が各戸を巡ります。この彼岸獅子舞は、地区の長男のみが伝承できるという伝統が現在でも固く守られており、山あいの農村集落が春の訪れを迎えてにぎわう姿を見せています。

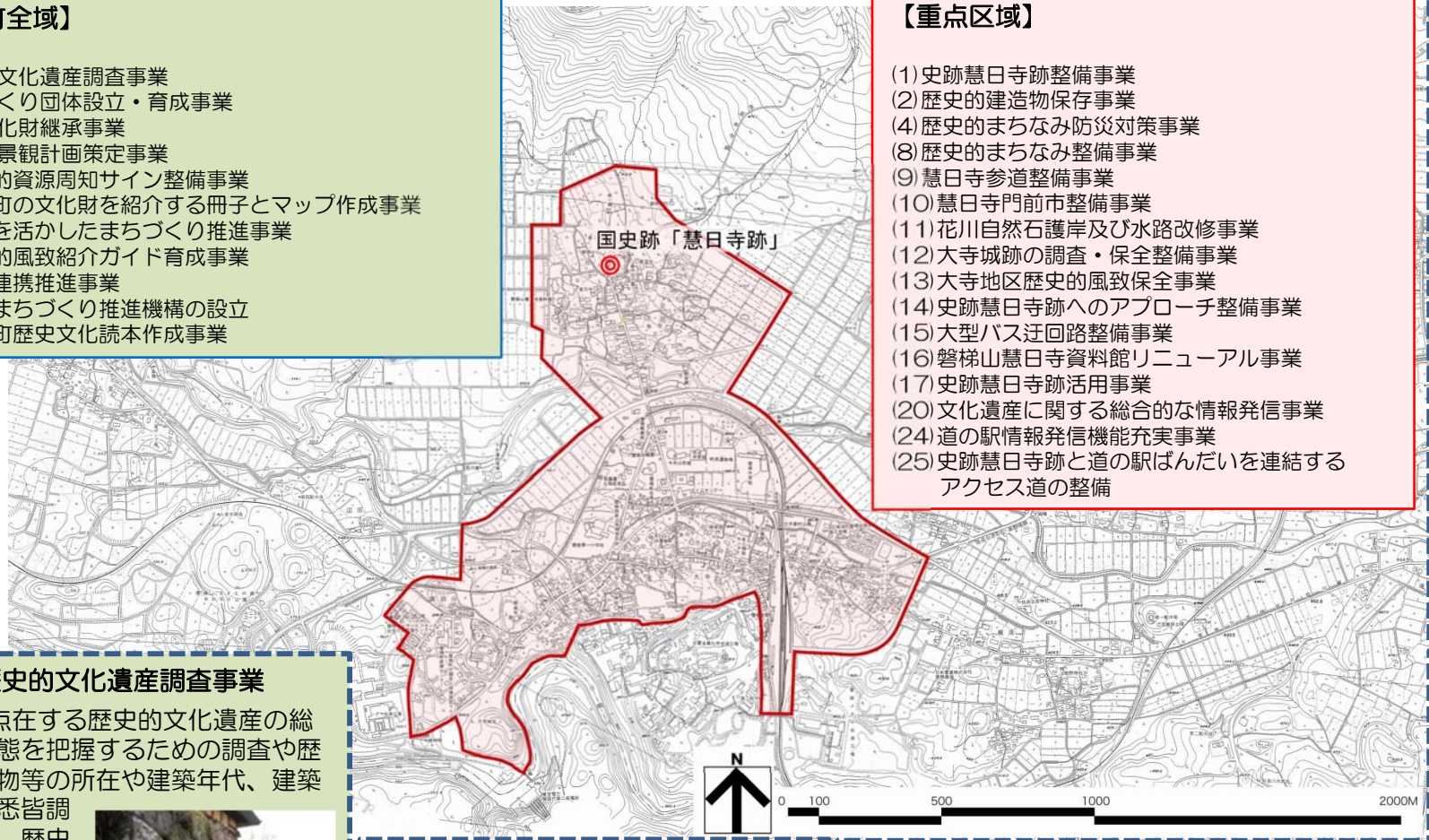

■赤枝彼岸獅子舞

磐梯町の重点区域における事業概要

重点区域の名称　大寺・本寺地区
重点区域の面積　約150ha

【磐梯町全域】

(3)歴史的文化遺産調査事業
(5)まちづくり団体設立・育成事業
(6)伝統文化財継承事業
(7)磐梯町景観計画策定事業
(18)歴史的資源周知サイン整備事業
(19)磐梯町の文化財を紹介する冊子とマップ作成事業
(21)歴史を活かしたまちづくり推進事業
(22)歴史的風致紹介ガイド育成事業
(23)広域連携推進事業
(26)歴史まちづくり推進機構の設立
(27)磐梯町歴史文化読本作成事業



【重点区域】

(1)史跡慧日寺跡整備事業
(2)歴史的建造物保存事業
(4)歴史的まちなみ防災対策事業
(8)歴史的まちなみ整備事業
(9)慧日寺参道整備事業
(10)慧日寺門前市整備事業
(11)花川自然石護岸及び水路改修事業
(12)大寺城跡の調査・保全整備事業
(13)大寺地区歴史的風致保全事業
(14)史跡慧日寺跡へのアプローチ整備事業
(15)大型バス迂回路整備事業
(16)磐梯山慧日寺資料館リニューアル事業
(17)史跡慧日寺跡活用事業
(20)文化遺産に関する総合的な情報発信事業
(24)道の駅情報発信機能充実事業
(25)史跡慧日寺跡と道の駅ばんだいを連結するアクセス道の整備

（1）史跡慧日寺跡整備事業
（17）史跡慧日寺跡活用事業

史跡慧日寺跡の建物遺構の伽藍復元整備を継続的に実施するとともに、植栽修景、周遊路の整備などを行う。
また、金堂内の展示物を制作し、説明パネルや、模刻作成工程の解説公開に向けた撮影記録、史跡散策者への音声ガイドシステムを構築し、見学者の史跡理解を助けると共に、文化財の保全意識の高揚を図る。


◆史跡慧日寺跡全景


◆復元展示物の模型

（3）歴史的文化遺産調査事業

町内に点在する歴史的文化遺産の総合的な実態を把握するための調査や歴史的建造物等の所在や建築年代、建築技法等の悉皆調査を行い、歴史的なまちなみや歴史的建造物の把握と利活用を進める。


◆本寺地区に残る石垣

（9）慧日寺参道整備事業

慧日寺参道の美装化、無電柱化、水路の整備、植栽空間の創出等を通じて一体的な歴史まちなみ空間を演出できるよう景観改善を行う。


◆慧日寺参道

（6）伝統文化財継承事業

磐梯町に残る祭礼等の活動の把握と記録作成、用具の修繕、財政支援、活動支援を行い、伝統文化財の継承保存を図る。


◆巫女舞の練習風景

（24）道の駅情報発信機能充実事業

歴史に関心を持つ町民や来訪者が交流することができる場であり、慧日寺門前町としての歴史に関する情報を発信できる施設として、史跡慧日寺跡と連携した道の駅の機能を強化する。



◆道の駅拡張イメージ

（2）歴史的建造物保存事業
（8）歴史的まちなみ整備事業

歴史的まちなみを再生し、まちなみの連続性を創出するために、歴史的風致形成建造物及び歴史的な建物や塀、石垣などの修景、改修等に対して支援を行う。


◆まちなみ整備イメージ


◆慧日寺参道沿いの民家

（10）慧日寺門前市整備事業

慧日寺参道沿いの町有物件を活用し、歴史的景観を象徴するファサードをもつ観光案内所を兼ね備えた施設を整備する。


◆門前市整備イメージ